

第一部 / 講演  
13:00~14:00

山田雄司  
(三重大学人文学部教授)

## 幕末忍者の情報収集

江戸時代の忍者は次第に重要性を失い、城下の警備などの仕事に限定されていくと考えられてきましたが、近年の研究で、幕末に活発な情報収集活動をしていたことがわかってきました。本講演では主に信濃国松本の忍び芥川氏に着目して、どのような活動をしていたのか明らかにしていきます。



山田雄司 (やまだゆうじ)

専門は日本中世信仰史。主著に『忍霊とは何か』(中央公論新社)、『忍者の歴史』(KADOKAWA)、『忍者はすごかった』(幻冬舎)、監修として『そろそろ本当の忍者の話をしよう』(ガンビット)など。各地に残る忍者関連資料を訪ね歩き、忍者・忍術の実証的研究を進め、日本だけでなく世界各国で講演を行っている。

第二部 / 講演  
14:00~15:00

新井敦史  
(大田原市黒羽芭蕉の館学芸員)

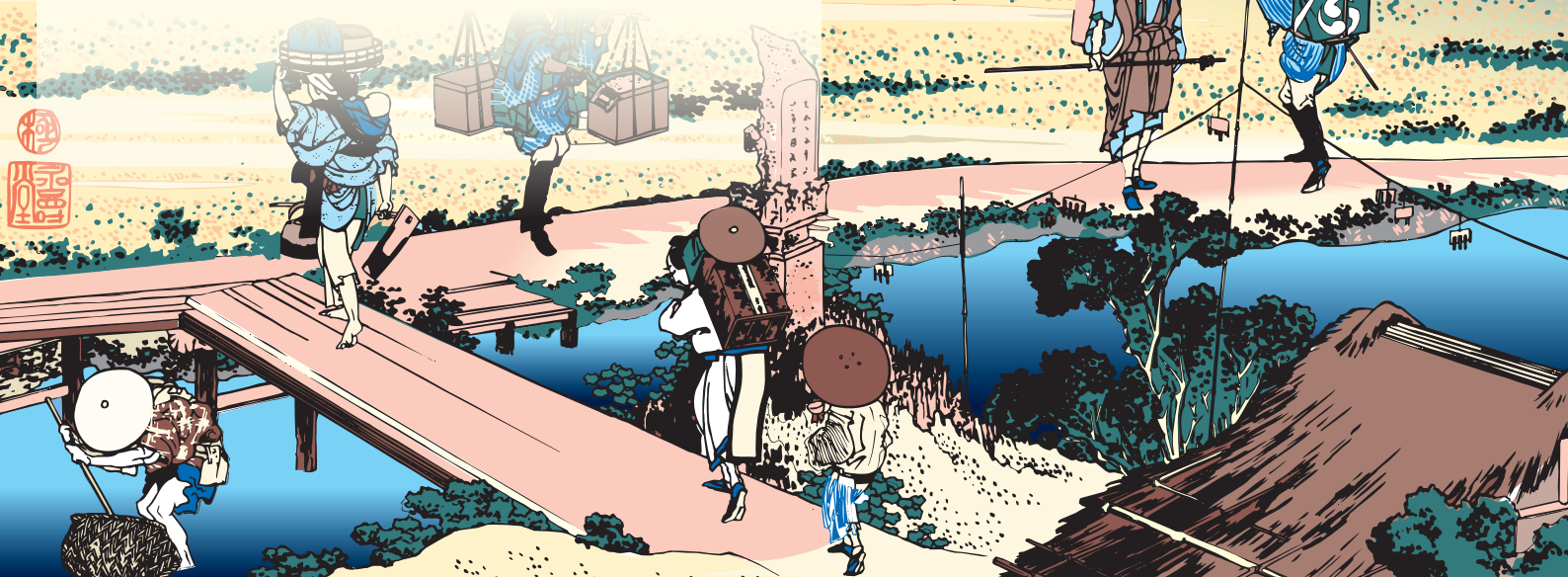
## 松尾芭蕉『おくのほそ道』の旅と忍者説をめぐって

松尾芭蕉はどんな人生を送ったのか? その51年の生涯の中で、紀行文の傑作『おくのほそ道』として結実することになる元禄2年(1689)の旅は、どのように位置づけられ、また、その行程はどのようなものだったのか? 一日どのくらい歩いたのか、あるいは秘密の旅だったのか? 芭蕉忍者説も意識しながら紹介します。



新井敦史 (あらいあつし)

専門は日本中世~近世史。主著に『下野国黒羽藩主大関氏と史料保存』(随想舎)、『武士と大名の古文書入門』(吉川弘文館)、『下野おくのほそ道』(下野新聞社)など。黒羽藩主大関家関係の古文書を研究し、松尾芭蕉や『おくのほそ道』に関する講座・講演を行っている。NHK第22回関東甲信越地域放送文化賞受賞。



三重大学伊賀サテライト連携事業

# 伊賀 再発見

三重大学伊賀連携フィールド

特別講座

# 講 忍 忍 座 術 者 学

in  
Tokyo

日時・場所  
2018.12/15(土) 13:00~15:00

# 三重テラス

浮世小路千疋屋ビル  
「YUITO ANNEX」2F  
東京都中央区日本橋室町2-4-1/  
東京メトロ銀座線「三越前駅」A9出口すぐ

事前申し込み制:60名先着順

申込期間

11月5日(月)~11月30日(金)

※定員になり次第締め切ります

申込方法

メール・電話・ファックスのいずれかで①氏名②参加人数③電話番号を明記してお申し込みください。

入場  
無料

申し込み  
問い合わせ



## 三重大学

三重大学人文学部チーム 総務担当  
〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

TEL:059-231-6991 (受付時間:平日9:00~16:00)  
FAX:059-231-9198 E-mail info-hum@ab.mie-u.ac.jp